

令和3年度 砺波市野球連盟大会実施要綱

この要綱は、公認野球規則・競技者必携に基づき、チーム及び選手の競技技術及びマナーの向上を図り、適正に大会運営を図ることを目的に定める。

- 1 試合は、7イニング又は1時間30分（学童は、1時間20分）を超えて新しいイニングに入らない。

ただし、決勝戦は、時間制限を適用しない。

※ 北日本新聞朝間野球富山県大会市予選の決勝戦は、時間制限を適用する。

- 2 同点の場合は、延長戦は行わず、タイブレークを適用する。決勝戦も同様とする。

※ 最終イニングの前のイニングで同点の場合は、最終イニングよりタイブレークを適用する。

※ 次のイニングで1時間30分（学童は、1時間20分）を超えると予想される場合は次のイニングより、タイブレークを適用する。

《タイブレーク方式》

継続打順で、前のイニングの最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁の走者とする。

すなわち、0アウト・二塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、これを繰り返す。

ただし、9イニングを完了して勝敗が決着しない場合は、抽選より勝敗を決める。

※ 北日本新聞朝間野球富山県大会市予選は、すべての試合において、タイブレークを適用しない。7イニング及び1時間30分を経過し同点の場合は、再試合とする。

- 3 得点差によるコールドゲームは、5イニング以降7点差とする。決勝戦も同様とする。
- 4 雨天又は、日没によるコールドゲームは、5イニングが終了すると成立する。
- 5 チームは、3イニング終了後、直ちにオーダー表を提出し、攻守を決める。
ただし、第1試合目は、試合開始予定時刻の30分前とする。
- 6 試合開始予定時刻になってもプレーができる状態になっていない場合は、棄権とする。
- 7 抽選番号の若いチームのダッグアウト(ベンチ)は、1塁側とする。

- 8 ダッグアウトに入る選手は、最低10名以上でなければならない。
- 9 試合中にダッグアウトに入れるのは、チーム代表者・スコアラー・監督・コーチ・選手・マネージャーとする。
- 10 服装については、全員がユニフォーム・帽子・ストッキング等が、同色・同形・同意匠でなければならない。
- 11 試合前のシートノックは行わない。
- 12 プレーヤー・審判に対する個人的なヤジは禁止する。違反した場合、審判・控審判が注意を与え、再び、注意を与えても対応しない時は、退場となる。
- 13 プレーに関して確認する際は、当該プレーヤー・監督・主将のうち1名とする。
- 14 審判の判定に関して、ストライク・ボール・アウト・セーフ等の確認はできない。
- 15 攻守交替は、すべて駆け足とする。
- 16 試合中の内野手間の転送球は、1回以内とする。
ただし、天候・時間等により中止する場合もある。
- 17 グラウンド内はもちろんのこと、ベンチ内での喫煙は厳禁とする。
- 18 試合終了後のグラウンド整備・ダッグアウト内の整理・清掃・ごみの持帰りは、各チームで責任をもって行う。
- 19 試合に出場する捕手・ブルペンの捕手は、必ず、フェールカップを着用する。
- 20 学童・少年部において、シートノックをする際の補助員は、全員ヘルメットを着用する。
- 21 投手の投球制限

《学童部（小学生）》

1人の投手は、1日70球以内（ただし、4年生は60球以内）を投球できる。

試合中に70球（60球）に達した場合は、その打者が、打撃を完了するまで投球できる。

《少年部（中学生）》

1人の投手は、1日100球以内を投球できる。

試合中に100球に達した場合、その打者が、打撃を完了するまで投球できる。

また、1週間の投球数は350球以内とする。